

「ファスナー合流」へのお願い

1. 合流部では“ファスナー合流”にご協力を

インターチェンジやジャンクション、サービスエリア・パーキングエリアなどから高速道路の本線に合流する箇所では、渋滞が発生しやすくなります。このような場所で渋滞が発生している時は、加速車線の先頭まで進み、ゆずりあいの精神で1台ずつ交互に合流する“ファスナー合流”にご協力をお願いいたします。

※“ファスナー合流”とは:規則正しく1台ずつ交互に(ファスナーのように)合流するものです。

2. E1 名神高速道路 一宮 JCT での渋滞対策

渋滞対策として、E41 東海北陸道から E1 名神 上り線(東京方面)に合流する加速車線で、車線を分離するラバーポールを延伸する工事を実施します。これにより、合流できる場所が加速車線の先頭のみとなり、規則正しく1台ずつ交互に合流する“ファスナー合流”がしやすくなることから、交通の流れがスムーズになります。このことで E1 名神と E41 東海北陸道で渋滞が発生した際に、渋滞の規模を軽減できると期待しています。

このように“ファスナー合流”がしやすくなるよう車線の運用を変更する渋滞対策は、国内で初の取り組みです。

